

平成 30 年 4 月 18 日

## 平成 29 年度 学校評価アンケート結果及び自己評価について

神戸大学附属中等教育学校

校長 藤田 裕嗣

昨年度末に御協力いただいた「学校評価アンケート」結果について、概況をお知らせします。全体としては、生徒評価はほぼ変動なし保護者評価はわずかに上昇という結果になっています。学年ごとの詳細については、別途データを御覧ください。一朝一夕に解決しない課題も多いのですが、今年度も改善のための努力を惜しまない所存です。

また、学校経営計画に基づく「学校自己評価」についてもお知らせします。

\* 平均：下記換算をもとに相加平均を算出

(①そう思う：4点 ②ほぼそう思う：3点 ③あまりそう思わない：2点 ④そう思わない：1点)

### 1 生徒評価アンケート 回答数 688 回答率 93%

Q2.3.4 は前期課程と後期課程で質問内容が異なる。

	1年	2年	3年	4年	5年	平均	昨年	差異
Q1.自分は、楽しい学校生活を送っている。	3.7	3.6	3.4	3.2	3.2	3.4	3.3	0.1
Q2.あいさつの習慣が身についている。	3.3	3.2	3.4			3.3	3.3	0.0
Q3.毎日の清掃をきちんとしている。	3.4	3.1	3.3			3.3	3.2	0.1
Q4.時間を守り、きめられた服装や正しい言葉遣いをしている。	3.3	3.2	3.2			3.2	3.2	0.0
Q2.学校のルールや社会的マナーを守ろうとしている。				3.4	3.3	3.4	3.2	0.1
Q3.将来の進路について、考えるようになった。				3.5	3.6	3.6	3.5	0.1
Q4.さまざまな取り組みを通して、神戸大学を身近に感じるようになった。				2.6	2.6	2.6	2.6	0.0
Q5.授業には、積極的に参加している。	3.2	3.0	3.2	3.0	3.1	3.1	3.1	0.0
Q6.授業の内容や教え方を工夫している先生が多い。	3.5	3.3	3.1	2.8	2.8	3.1	3.0	0.1
Q7.学校では、グローバルな視点から考えたり学んだりする場がある。	3.5	3.2	3.4	3.0	3.0	3.2	3.2	0.0
Q8.学校には豊かな心や人の生き方について考えたり学んだりする場がある。	3.2	3.0	3.0	2.6	2.6	2.9	2.9	0.0
Q9.学校には命や人権の大切さについて考えたり学んだりする場がある。	3.2	2.9	2.8	2.7	2.5	2.8	2.8	0.1
Q10.Kobe・プロジェクト(総合学習)は、自分にとって大切な学習である。	3.3	3.2	3.1	2.6	2.4	2.9	3.0	-0.1
Q11.自分の考えをまとめたり発表したりする機会に、しっかりと取り組んでいる。	3.5	3.2	3.3	3.0	2.9	3.2	3.1	0.1

Q12.地震や火災などが起こった場合、避難方法などどうすればよいかを教えてもらっている。	3.5	3.3	3.1	3.0	3.0	3.2	2.9	0.3
Q13.学校・行事(宿泊行事を含む)は、自分自身が成長する機会になっている。	3.6	3.5	3.4	3.0	3.0	3.3	3.2	0.1
Q14.生徒の自主活動(生徒会、学級、委員会等)には、積極的に参加し協力している。	3.0	2.9	3.0	2.6	2.9	2.9	2.8	0.1
Q15.クラブ活動に積極的に参加している。	3.3	3.2	2.8	2.4	2.7	2.9	2.9	0.0
Q16.先生は、的確に自分を評価してくれる。	3.2	3.3	3.1	2.8	2.8	3.0	2.9	0.1
Q17.先生は、いじめや生活・学習の問題について対応してくれる。	3.2	3.1	3.0	2.7	2.6	2.9	2.8	0.1
Q18.学校の施設・設備が充実している	2.9	2.4	2.5	2.2	2.4	2.5	2.7	-0.2
項目総平均	3.3	3.1	3.1	2.9	2.9	3.1	3.0	0.1

詳細は、平成 29 年度学校評価 生徒アンケート(前期課程) 1年2年3年

平成 29 年度学校評価 生徒アンケート(後期課程) 4年 5年

### 【小括】

- ① 昨年度に比して、わずかながら評価が上昇（3年前との比較では0.3アップ）しています。  
1項目（「Q12.地震や火災などが起こった場合の避難方法」）が0.3の上昇。学校生活の基本や授業、生徒への的確な評価に関する12項目で0.1の改善がみられます。いっぽう、1項目で0.1低下し、施設設備評価については0.2ポイント昨年度に続きさがっています。冬季の暖房問題が影響していると推察されます。
- ② 前期課程では、「Q1.自分は、楽しい学校生活を送っている」「Q7.学校では、グローバルな視点から考えたり学んだりする場がある」「Q13.学校行事(宿泊行事を含む)は、自分自身が成長する機会になっている」をはじめ、高い評価が散見されます。
- ③ 後期課程では、「Q15.クラブ活動に積極的に参加している」「Q8.学校には豊かな心や人の生き方について考えたり学んだりする場」「Q9.命や人権の大切さについて考えたり学んだりする場」「Q10.Kobe・プロジェクト(総合学習)は、自分にとって大切な学習」の項目について、2.4～2.6と低位です。あまり改善が進んでいない点は、猛省事項です。
- ⑤ 「Q12.地震や火災などが起こった場合の避難方法」「Q16.先生は、的確に自分を評価してくれる」「Q17.先生は、いじめや生活・学習の問題について対応」では一定の改善が見られます。
- ⑥ 学年進行で、「評価」が下がるのは全国的に一般的傾向です。成長と共にメタ認知(自分の思考や行動自体を対象として客観的に把握し認識する)能力が上がるためともいわれていますが、同時に「自己肯定感」の低下なども気になるところです。
- ⑦ 「豊かな心や人の生き方」「命や人権の大切さ」を育む機会は十分設けているつもりですが、教育として組織的な取組が遅れていると思われます。現在道徳特活等WGを立ち上げ、前期課程では「道徳」の教科化を前に実践準備に入っています。後期課程でも、HRや特別活動等を通して強化を図る予定です。

2 保護者評価アンケート 回答数592 回答率80%

質問項目	1年	2年	3年	4年	5年	平均	昨年	差異
Q1. 学校は、教育目標や教育方針をわかりやすく保護者に伝えている。	3.5	3.3	3.2	3.1	3.0	3.2	3.2	0.1
Q2. 学校の教育方針に賛同している。	3.6	3.5	3.2	3.1	3.1	3.3	3.3	0.0
Q3. 学校の情報は、通信・ホームページ・メール配信や懇談会などでよく伝えられる	3.5	3.4	3.1	3.1	2.9	3.2	3.2	0.0
Q4. 学校は、子どもたちが安心して学べる環境づくりをしている。	3.5	3.2	3.1	3.2	3.1	3.2	3.2	0.0
Q5. 学校は、子どもたちが主体的に取り組む特色ある教育活動を行っている。	3.7	3.6	3.4	3.2	3.2	3.4	3.4	0.0
Q6. 学校は、グローバルな視点に基づく教育を行っている。	3.5	3.3	3.4	3.2	3.2	3.3	3.3	0.0
Q7. 学校では、授業や文化祭・合唱コンクールなどの学校参観がしやすい。	3.5	3.2	3.3	3.2	3.1	3.3	3.3	0.0
Q8. 教員は、わかる授業・生徒の学習意欲を引き出す授業に努めている。	3.1	3.1	2.9	2.8	2.7	2.9	2.9	0.1
Q9. 教員は、家庭連絡や保護者との意思疎通を図ろうと努めている。	3.2	3.2	3.0	2.7	2.6	2.9	3.0	0.0
Q10. 教員は、子どもの悩みや健康について気を配り、子どものことを理解しようと努めている。	3.2	3.2	3.0	2.9	2.7	3.0	3.0	0.0
Q11. 教員は、保護者の来校や電話に対して、ていねいな対応をしている。	3.5	3.6	3.3	3.2	3.1	3.3	3.4	-0.1
Q12. 教員は、子どもの誤った行動に対して適切な指導をしている。	3.4	3.3	3.1	3.0	2.8	3.1	3.0	0.1
Q13. 教員は、子どもの努力や能力を適切に評価している。	3.3	3.2	3.0	3.0	2.8	3.1	3.0	0.1
Q14. 子どもは、あいさつ・言葉遣い・服装など、生活の基本が身に付いている。	3.1	3.1	3.0	3.1	3.1	3.1	3.1	0.0
Q15. 子どもは、学校にたくさんの友だちがいると言っている。	3.3	3.4	3.3	3.3	3.2	3.3	3.2	0.0
Q16. 子どもは、生徒会や委員会活動に積極的に参加したり協力したりしている。	2.8	2.9	2.9	2.7	2.8	2.8	2.8	0.0
Q17. 子どもは、クラブ活動に積極的に参加している。	3.2	3.3	3.0	2.6	2.9	3.0	3.0	0.0
Q18. この1年間で、子どもなりに人間的に成長したことが感じられる。	3.4	3.5	3.3	3.3	3.4	3.4	3.4	0.0
項目総平均	3.3	3.3	3.1	3.0	3.0	3.2	3.1	0.0

詳細は、平成 29 年度学校評価 保護者アンケート

【小括】

- ① 昨年度と大きな変化はありません（3年前と比べて0.1アップ）が、4項目で0.1上がり、1項目「Q11. 教員は、保護者の来校や電話に対して、ていねいな対応」で0.1下がっています。評価平均は3.3と低くはありませんが、留守番電話設定に変えたことが影響していると推察されます。総平均は小数点処理の関係もあって見かけ上0.1上昇しています。
- ② 全体として学校の基本方針への賛同「Q2. 学校の教育方針に賛同している」（平均値3.3）が読み取れます。中でも「Q5. 学校は、子どもたちが主体的に取り組む特色ある教育活動を行っている」が、「Q18. この1年間で、子どもなりに人間的に成長したことが感じられる」と並んで、評価平均3.4と高くなっています。

- ③ 生徒ほどではありませんが、一般的に保護者評価も学年進行でやや下がる傾向にあります。今年度は1年と5年で0.38(昨年度0.30, 一昨年度0.24)の格差があり、近年拡大傾向が見られます。この原因についてはよく分析し対応する必要があると考えています。
- ④ わずか0.1とはいえ、「Q8. 教員は、わかる授業・生徒の学習意欲を引き出す授業に努力」「Q12. 教員は、子どもの誤った行動に対して適切な指導」「Q13. 教員は、子どもの努力や能力を適切に評価」等の項目で上昇が見られました。
- ⑤ いっぽう、4年生では「Q16. 子どもは、生徒会や委員会活動に積極的に参加し協力」「Q17. 子どもは、クラブ活動に積極的に参加」等の低い項目も散見され、課題と受け止めています。

## 平成 29 年度 附属中等教育学校自己評価について

附属中等教育学校

校長 藤田 弘嗣

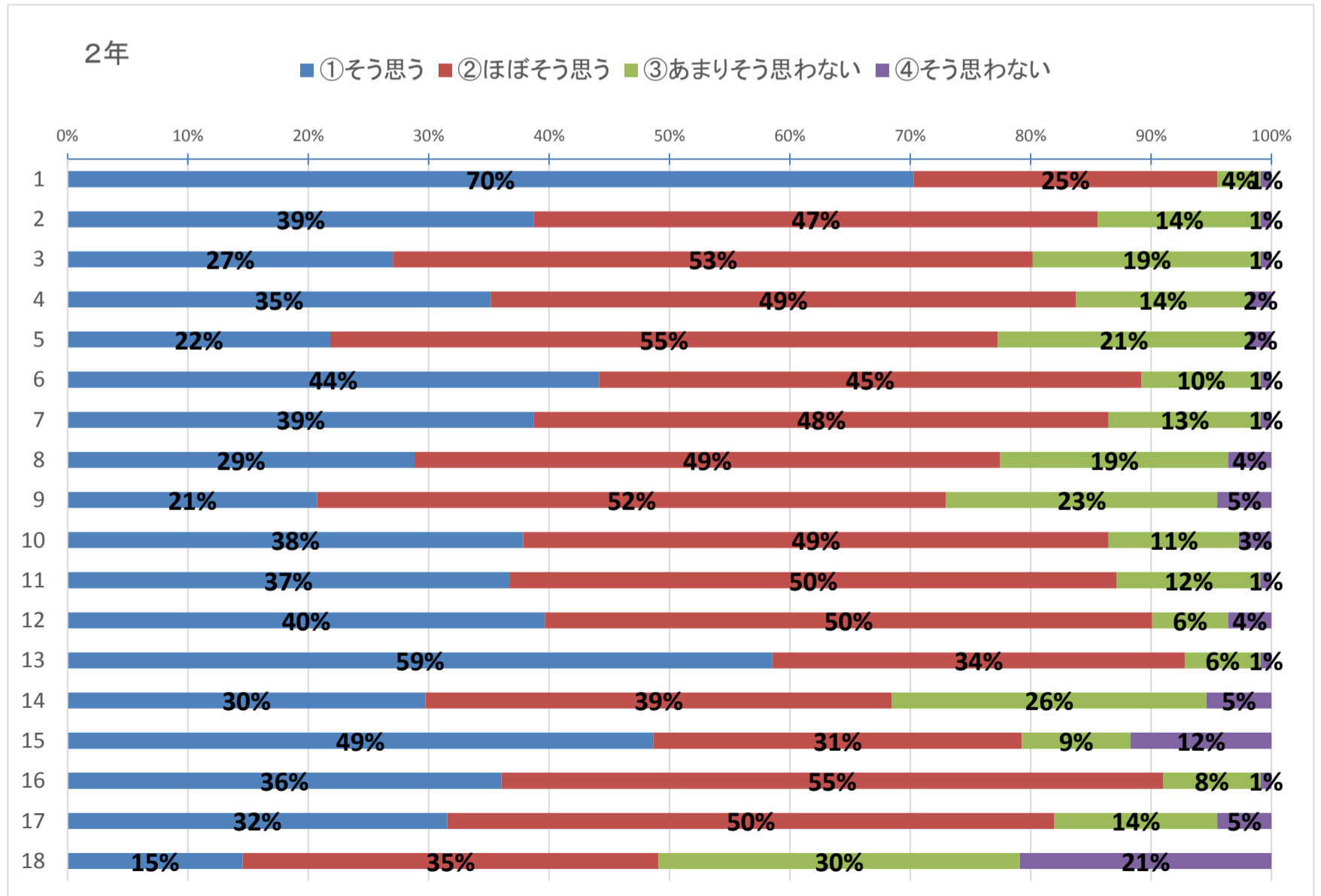
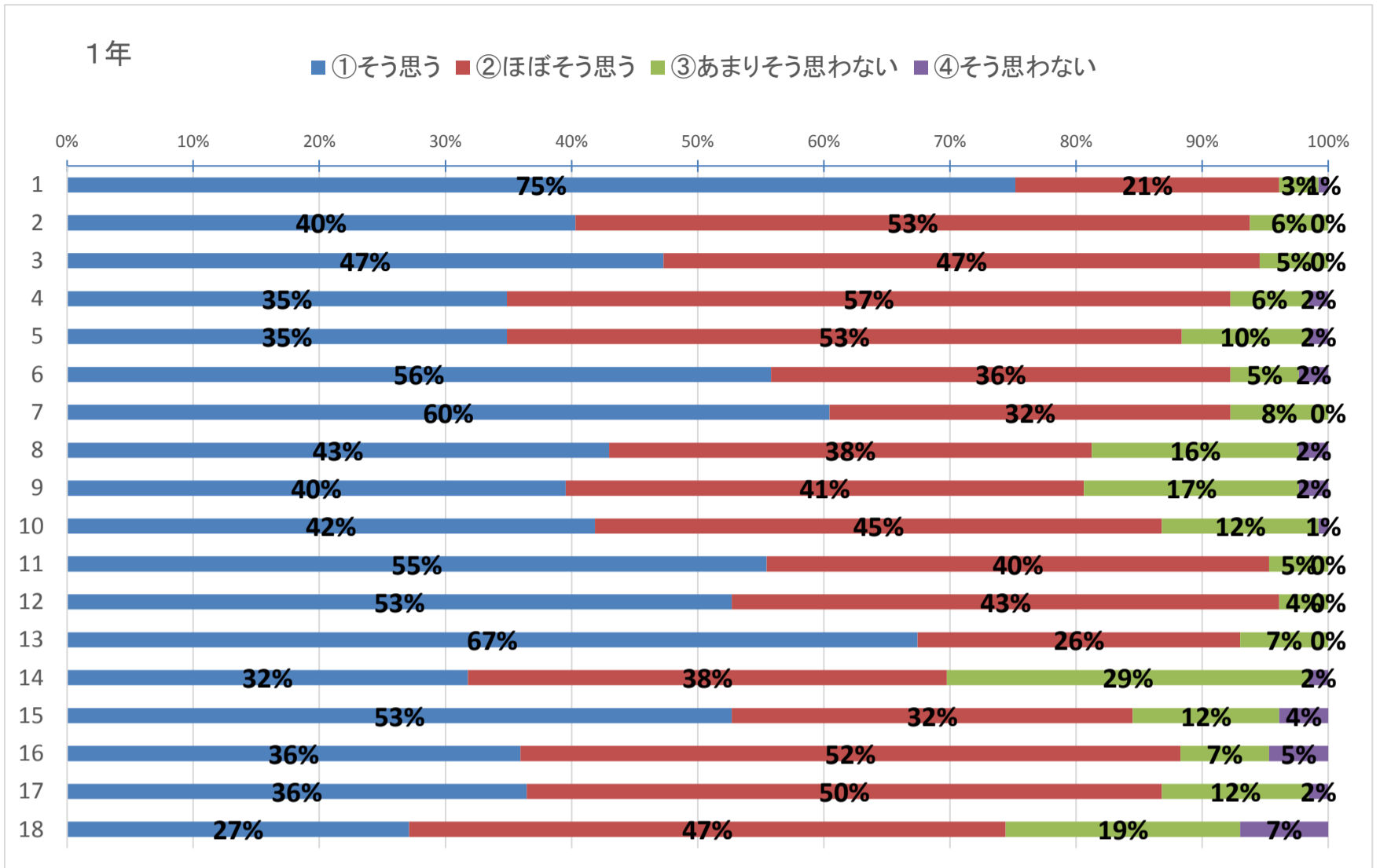
平成 29 年度「学校経営計画」の各項目に対する学校の自己評価をお知らせします。昨年度一年間の学校の教育的営為を、生徒・保護者・教員による学校評価アンケート結果（後掲）等を参考に評価し、学校評議員の意見と併せて、平成 30 年度「学校経営計画」での改善策にも活用しています。なお、評価基準は次の通りです。

### <評価基準>

- A 新規事業の目標を達成した。事業を超過達成した。 B 事業を堅実に達成した。  
 C 事業を一部達成できなかった。 D 事業を達成できなかった。  
 F 外的要因によって、事業に取り組みなかった。

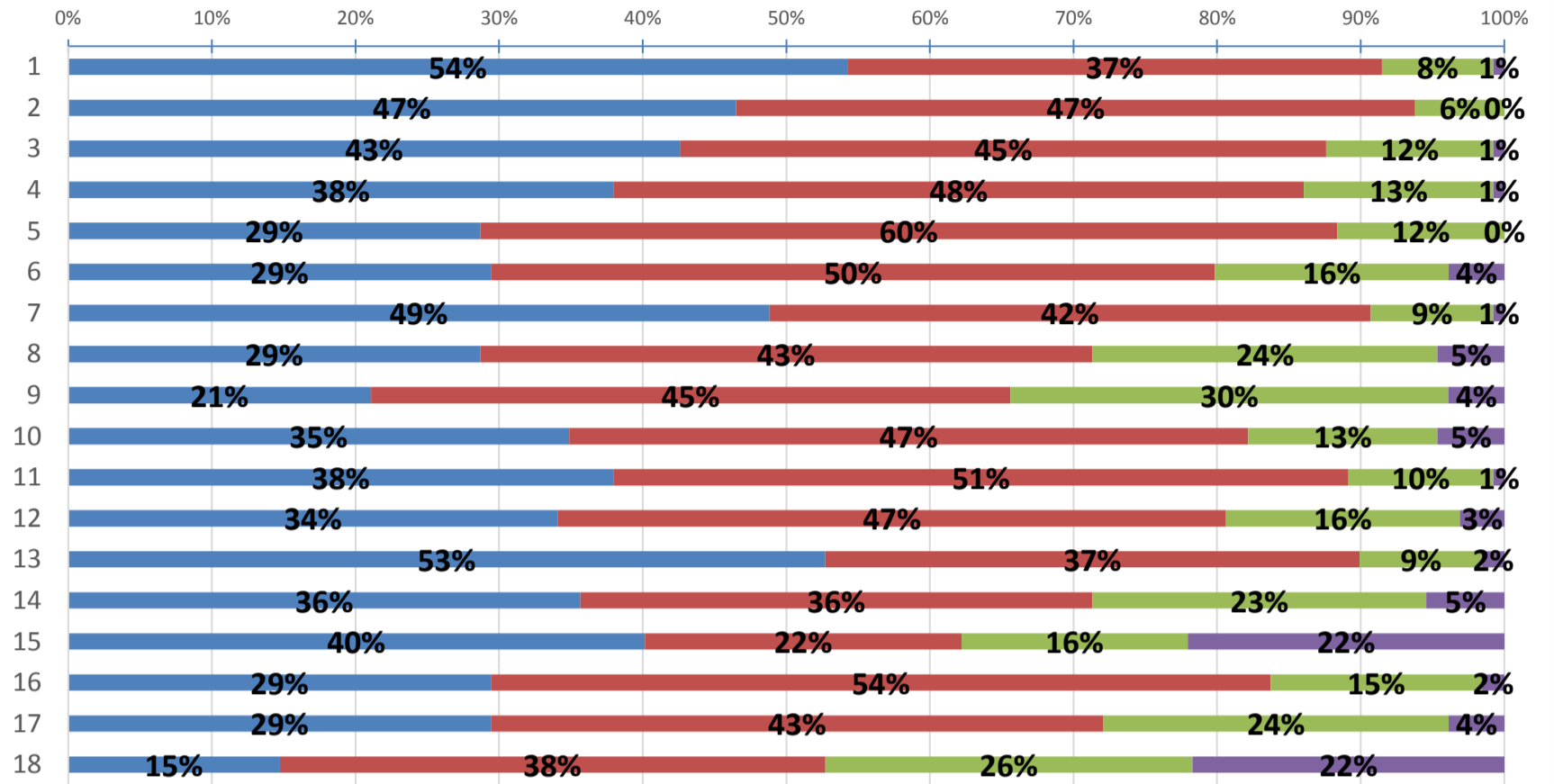
領域	テーマ	方策等（下線部：課題と認識している箇所）	評価
学習指導	1 授業改善	主体的・対話的で深い学びを実現するため授業改善に取り組む。全専任教員は授業アンケートを実施し、評価平均3.0以上を実現できるよう最大限の努力を払う。	B
	2 教育課程	新教育課程を継続実施する。また新学習指導要領の動向をふまえながら、必要な教育内容の見直しを図る。「道徳」については、内容上の検討をふまえつつ、前期課程で実施する。	A
	3 協同学習	協同学習について研究開発事業やSGHとも連携しつつ、 <u>理論的に再整理しつつ継承を図り</u> 、後期課程での実践を広げる。	B
	4 Kobeプロ	卒業研究をはじめとするKPに関する各種書式を統一すると共に、実績を共有できるよう資料整理等を行う。調査用図書 <sup>の</sup> 拡充を図り、部門ごとの <u>教員カンファレンスを実施する。</u>	B
	5 ICT教育	プロジェクター等の環境整備をふまえ、ICT教育を発展させ、研修を通じた共有化を図る。新学習指導要領の動向をふまえ、 <u>情報科を中心に中期計画を策定する。</u>	B
	6 食育指導	ESD(及び道徳)の一貫として <u>教科の枠をこえた食育の充実を図り</u> 、給食を授業時間の枠内で実施する。アレルギー対策としてエビベン研修を行なう。	B
生徒指導	7 自主活動	生徒会執行部活動及び生徒による諸行事(文化祭・体育祭・合唱祭等)を支援する。執行部との副校長懇談会を継続する。 <u>活動支援課を中心に日程変更に伴う教員の準備体制を整える。</u>	A
	8 宿泊行事	学校行事改革を継続し、ケアンズ修学旅行及び新沖縄研修を成功させる。GAP宿泊行事ではSGH課題研究との関連を明確にしつつ、 <u>各宿泊行事を成功させる。</u>	B
	9 部活動支援	<u>各部への顧問配置を増やす</u> 。生徒等の意見・要望を集約すると共に、部活動の将来構想について検討する。外部コーチ制を拡充し、 <u>部室増設構想を策定する。</u>	B
	10 生活指導	<u>シティズンシップ、倫理観、人権意識の育成に関して「互いを認めあう」をキーワードに、道徳・HR等を通して、学校としての組織的な教育を行う。</u> （→組織的な取組にならなかった）	C
	11 教育相談	スクールカウンセラーと連携した教育相談事業を継続する。QU活用を定着させ、 <u>個々の生徒に応じた学習支援体制を継続する。</u>	B
	12 生徒福利	購買部設置3年目にあたり、生徒会・保護者の要望を踏まえ、 <u>必要な改善を検討する。</u> 神戸大生協の運営をサポートする。	B
進路指導	13 進路指導 学習困難生に対する相談体制を整備する。後期課程での進路に関する指導を綿密に行うと共に、各種資料の分析などを通して、情報の組織的共有を図る。	B	

	14 進路保障	6年では、生徒の進路希望実現に向けた進路指導・相談を丁寧に行うと共に、進路保障に尽力する。	A
	15 進路広報	進路情報の公開を継続すると共に、学年保護者会等を通して、前期課程も含めた生徒・保護者への進路広報活動を強化する。	A
研究 政策	16 キャリア教育	グローバル教育とキャリア教育の関連について理論上の整理を行うと共に、神戸大学day等の事業を研究部主体で実施する。全学年を通してキャリア教育に力を入れる。	B
	17 SGH 研究開発	SGH指定3年目。事業を定着させると共に報告会・公開授業研究会等を成功させる。また、中間評価をはじめとする検証評価を実施すると共に、事業ごとの評価を行う。	B
	18 SGH 課題研究	SGH「課題研究」については、卒業研究の枠組みを利用して継続実施する。教員の指導体制、評価制度を強化すると共に、4領域ごとの大学の支援体制を整備する。	A
	19 SGH 国際交流	GAPを計画的に実施し、マイレージ制について丁寧な説明を行う。ケンブリッジCVCとの交流校協定交渉を行う。留学生受入れ等を円滑に進める。	B
	20 地歴研究開発	研究開発学校延長1年次にあたり、新科目「地理総合」、「歴史総合」の研究開発を実施する。学術会議等との連携を深め、運営指導委員会、公開授業研究会等を円滑に行う。	A
	21 研究活動	公開授業研究会とSGH報告会は1日開催とし、一体的に実施する。道徳について実践研究を行うと共に、ユネスコスクール(ESD)の視点をふまえ、神戸大学の事業に協力する。	A
危機 管理	22 安全管理 安全教育	防災訓練を実施し防災意識を徹底する。神戸市の支援を得て、防災備蓄物資の拡充を図る。教員対象の研修、 <u>生徒対象の感染症対策</u> 、 <u>防犯・防災・衛生教育</u> を行う。	B
	23 情報管理	情報管理の改善を図ると共に、必要な情報機器・ <u>システムの整備を行う</u> 。SGH及び英文ホームページを円滑に運営する。	B
	24 施設整備	懸案の第二アリーナ空調設置、舞台照明の改善など設備の整備を行う。年度別教室配備計画を策定・実施する。必要な什器を揃えると共に、 <u>ICT教育環境を充実させる</u> 。	A
学校 経営	25 人事計画	教員急減期をふまえ、交流人事等の人事配置計画を慎重に遂行する。また、校内人事配置に関する中期計画を策定・周知する。ALTの常勤化を継続する。	B
	26 教員研修	授業力・教育実務向上、ハラスメント対策等研修を実施する。同僚性を高める場として、 <u>校内の授業公開等を活用する</u> 。各種プロジェクトや研修出張を支援する。	B
	27 財政措置	予算急減に対応するため、借入金を継続すると共に、 <u>緊縮財政を徹底する</u> 。教育環境整備費と施設説示充実費の寄付金額について教育後援会と共に検討する。	B
	28 事務室連携	事務室の改組に伴う労務・財政システム、職員会議参加、電話対応等をはじめとする事務室との <u>一体的運営を定着させる</u> 。	B
	29 保護者対応	学年保護者会の持ち方をPTA共催にする。 <u>PTSA(生徒が参加する形態)の活動を推進すると共に</u> 、保護者と学校が情報共有できるよう工夫する。	B
	30 適性検査広報	オープンスクール、文化祭招待、適性検査説明会及び連絡進学説明会等を通して、入学適性検査の広報活動を徹底する。平成31年度入検の枠組みを検討する。	A
	31 適性検査実施	昨年度の総括に基づき、履修範囲をふまえた問題作成及び連絡検査及び一般適性検査を円滑に実施する。	B
大学 連携	32 高大連携	SGH高大連携委員会と連携し、各種事業を円滑に進める。神戸大学との高大接続入試を実施すると共に、 <u>「志」入試に備える</u> 。同時に高大接続入試の検証作業を進める。	B
	33 一貫教育	連絡進学に関する広報活動を円滑に進めると共に、実施後の検証を行う。一貫教育センター(仮称)を立ち上げると共に、 <u>英語・ESD・ヘルスプロモーション等の事業を進める</u> 。	A

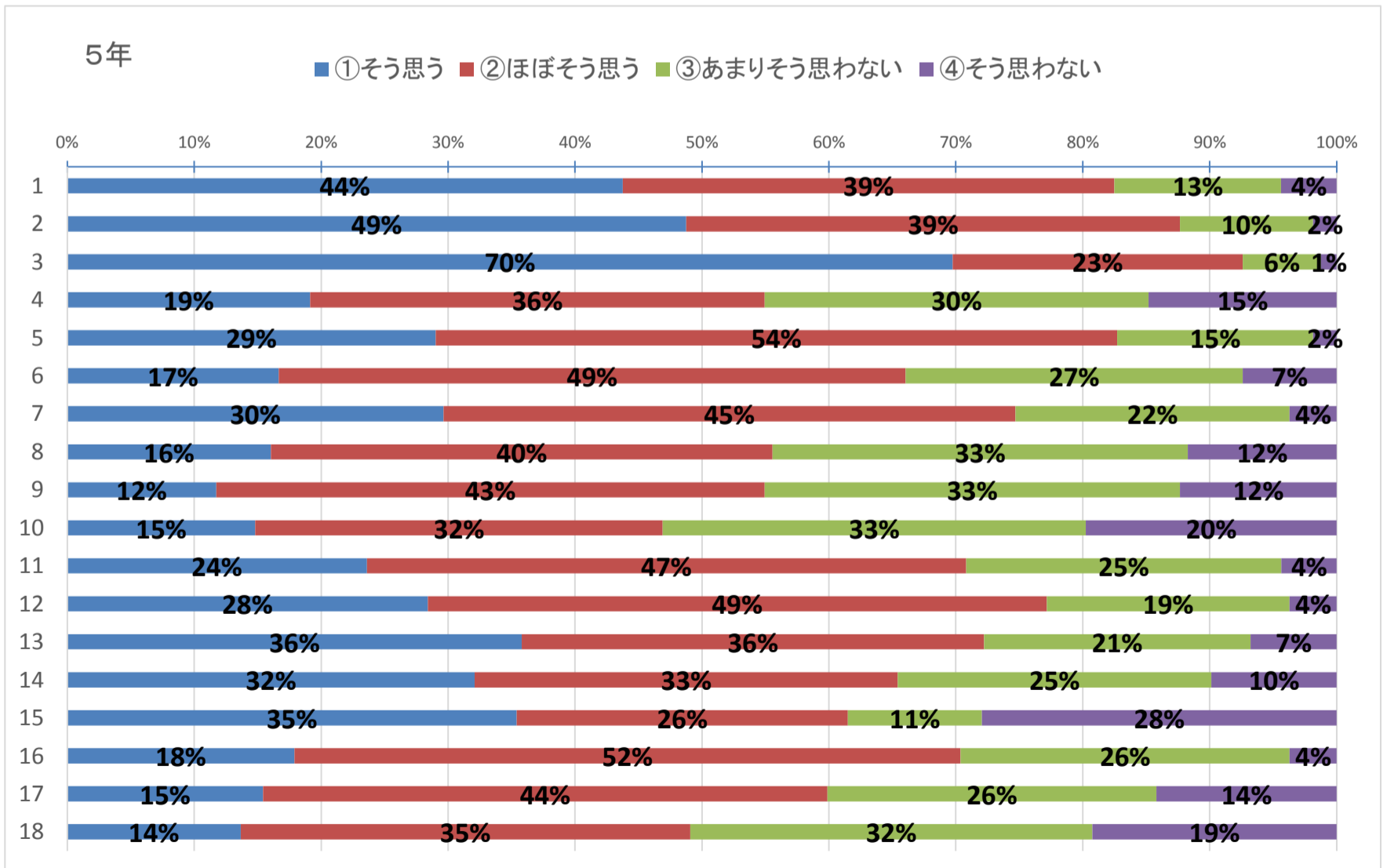
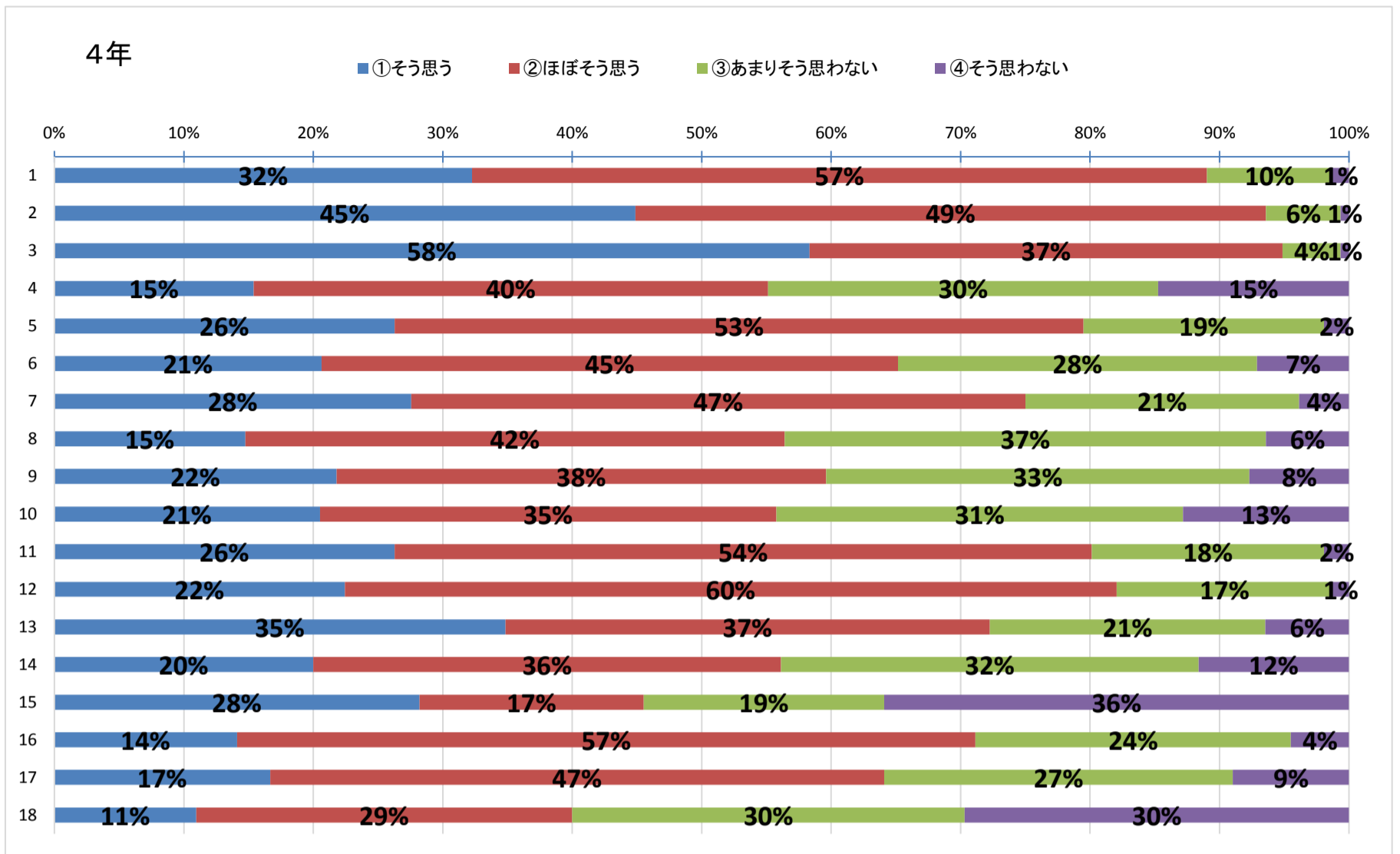


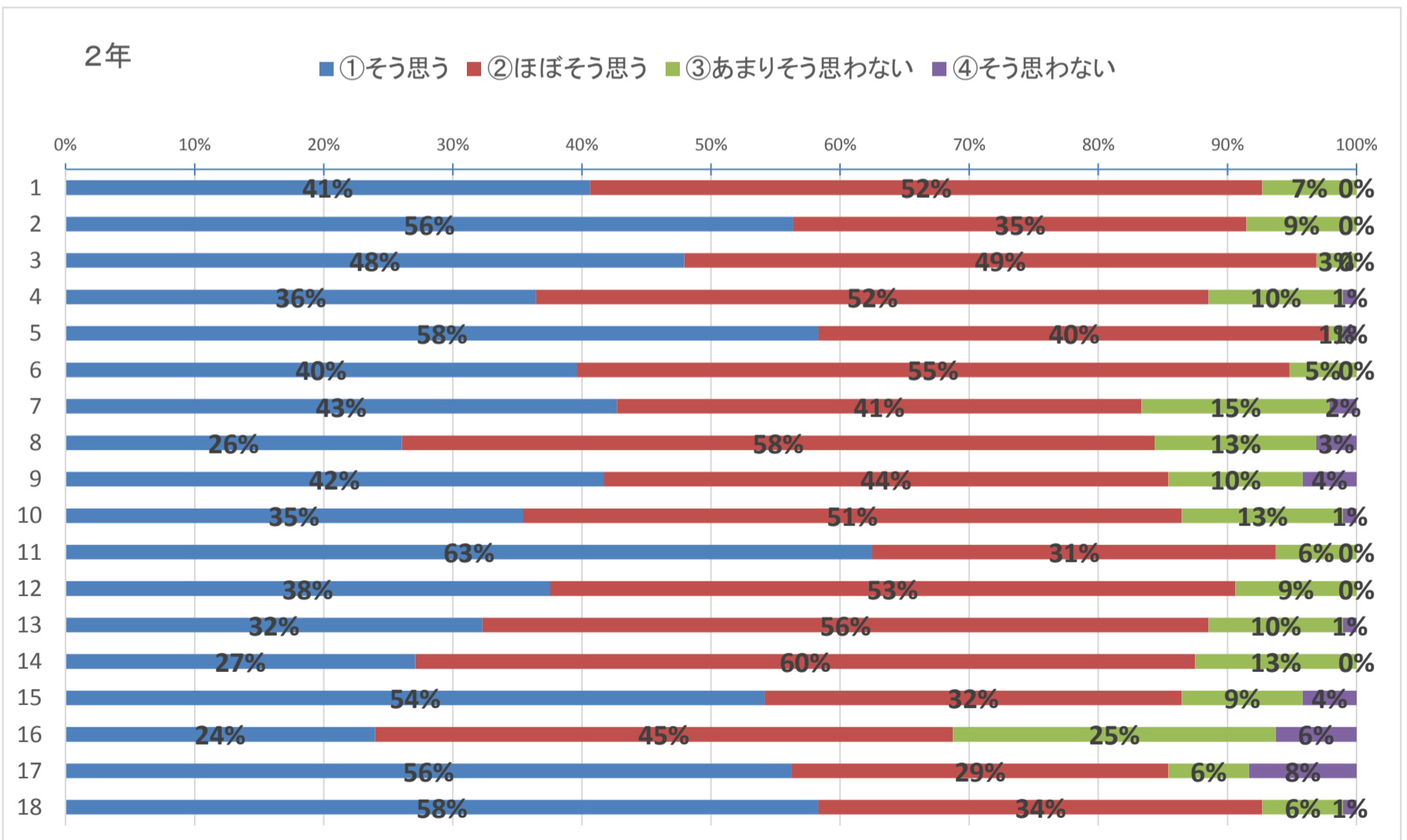
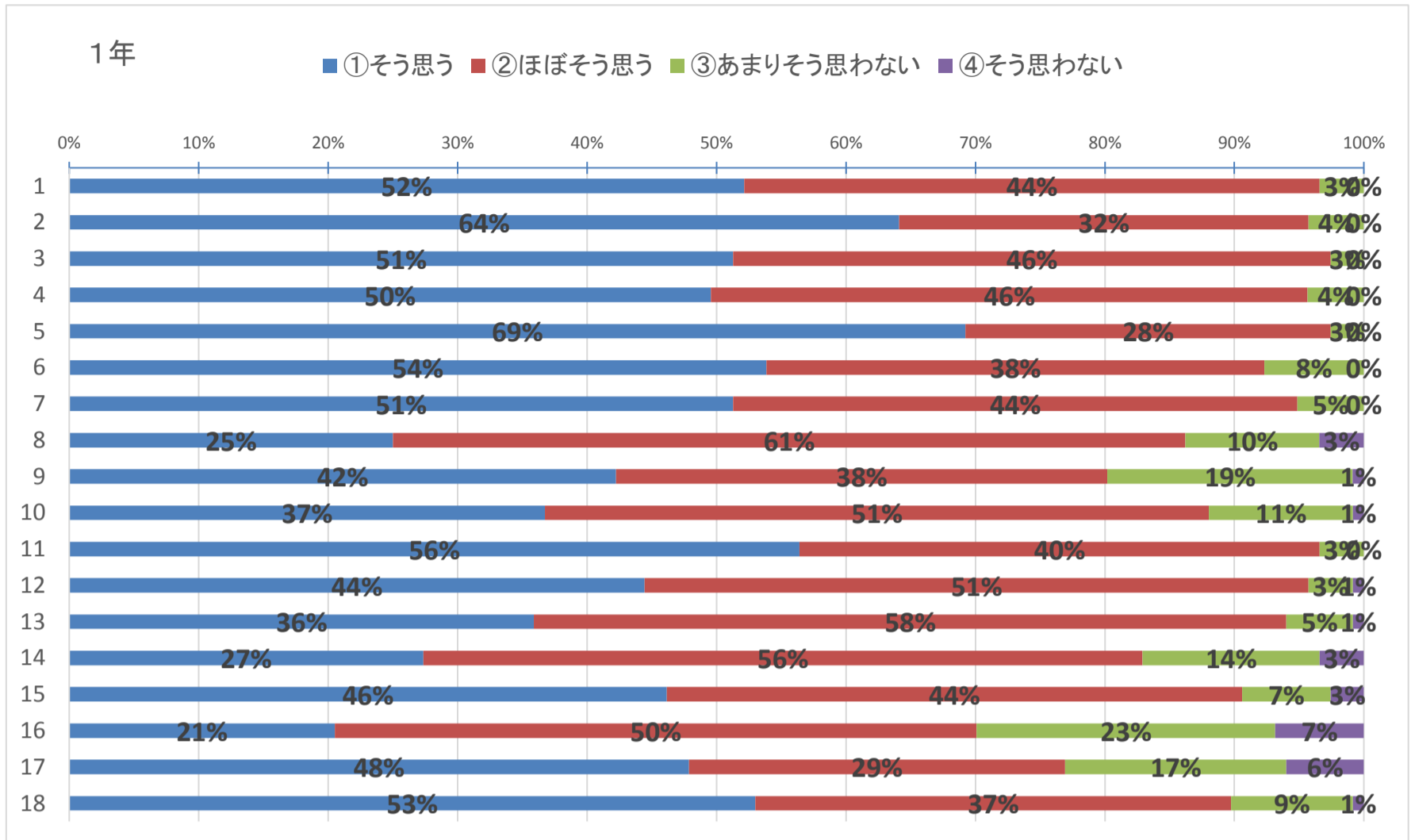
3年

■ ①そう思う ■ ②ほぼそう思う ■ ③あまりそう思わない ■ ④そう思わない



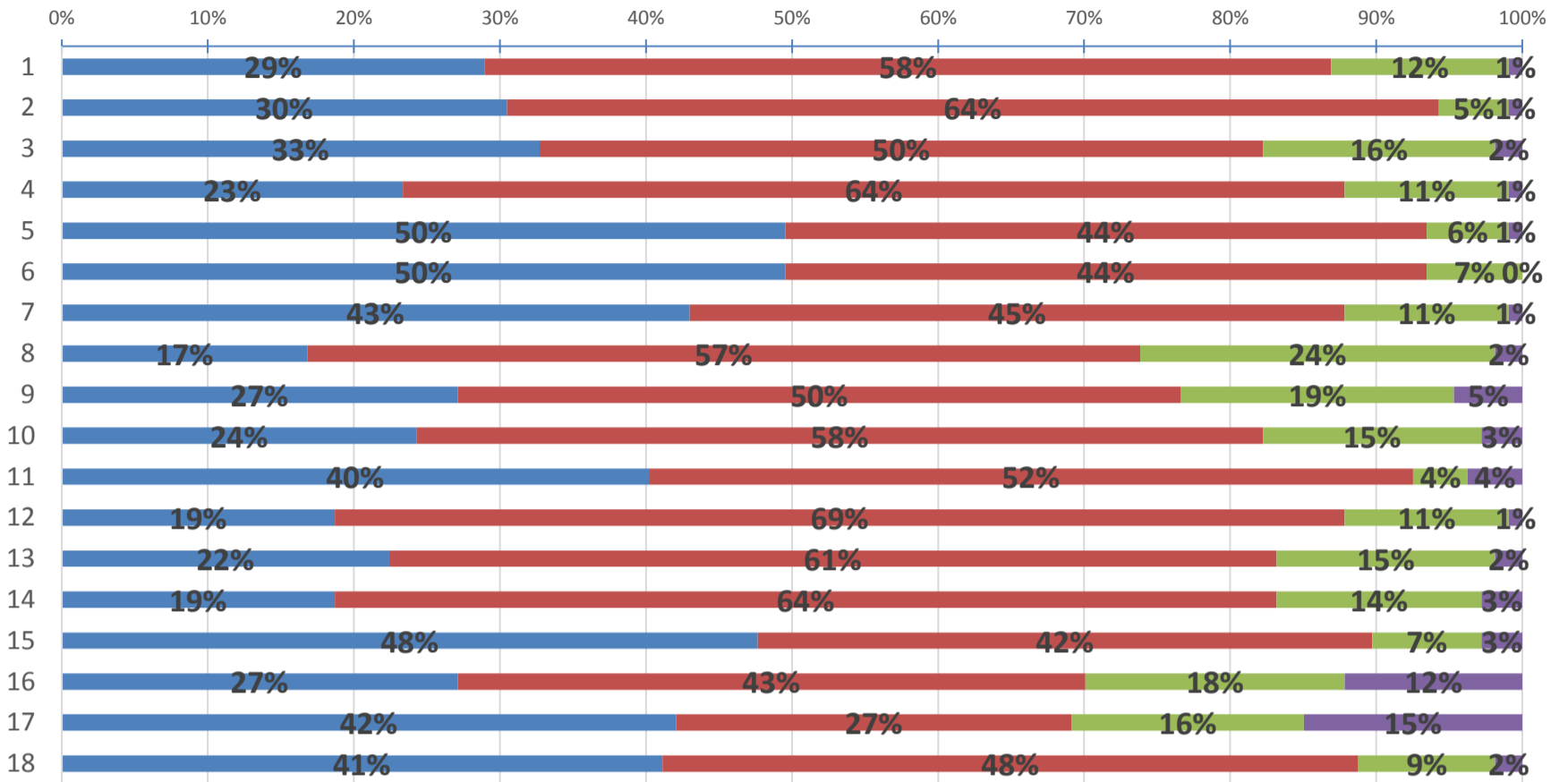






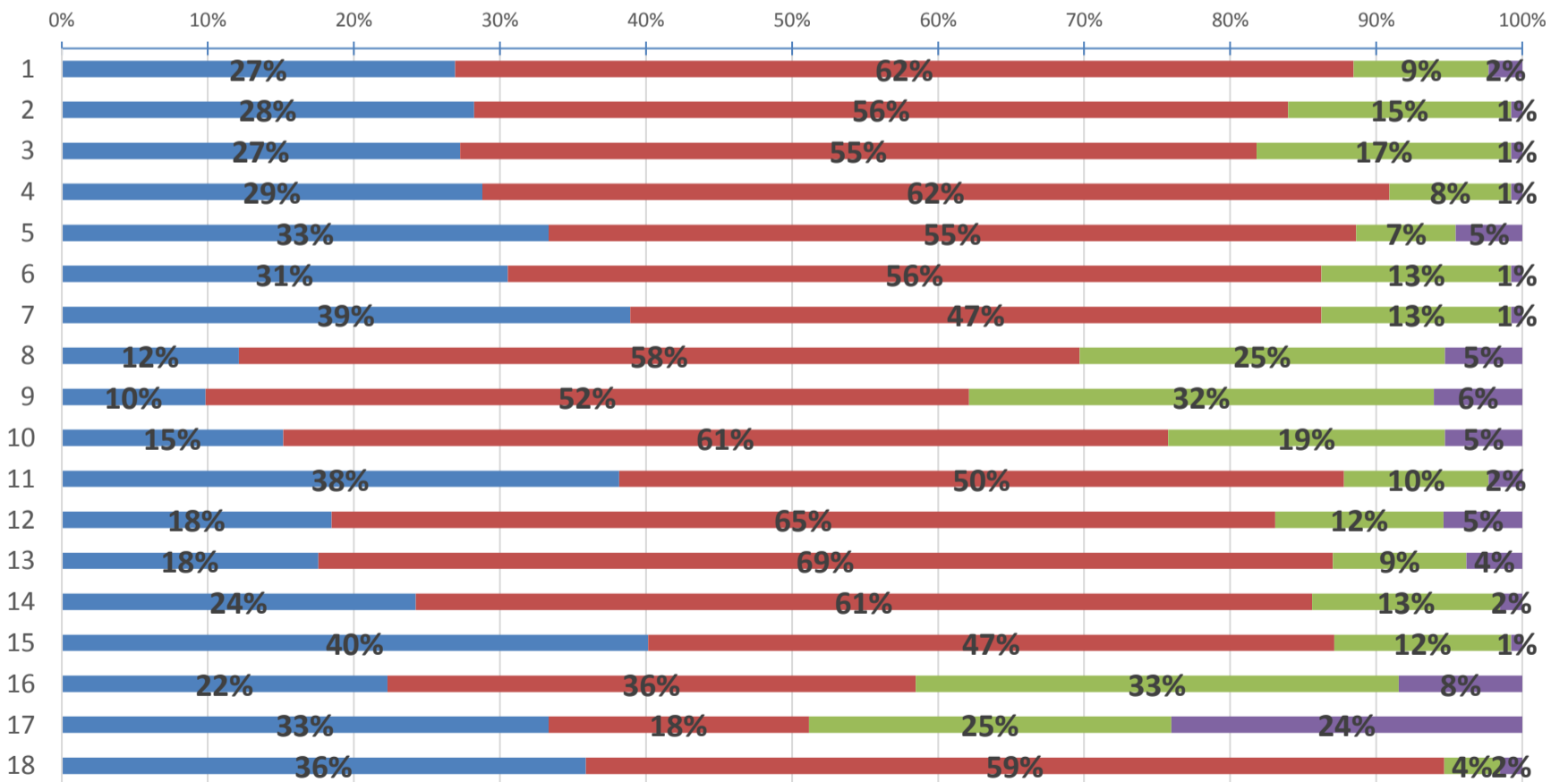
3年

■ ①そう思う ■ ②ほぼそう思う ■ ③あまりそう思わない ■ ④そう思わない



4年

■ ①そう思う ■ ②ほぼそう思う ■ ③あまりそう思わない ■ ④そう思わない



5年

■ ① そう思う ■ ② ほぼそう思う ■ ③ あまりそう思わない ■ ④ そう思わない

